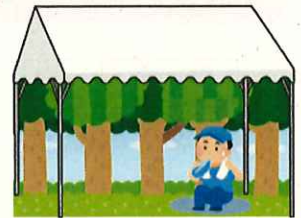


熱中症を防ごう！！



福島労働基準監督署

管内では、令和2年に熱中症による死亡災害が発生し、対策が十分に講じられていない状況も見受けられます。

厚生労働省では、令和5年「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」を展開しており、様々な角度からの熱中症予防対策を呼び掛けています。皆様におかれましても、熱中症災害ゼロを目標に、対策の取組をお願いします。



熱中症対策のポイント

以下を中心とした取組みを行いましょう。



熱中症予防管理者が、巡視・対策の確認を行います。

WBGT値の把握・活用について

- 暑熱環境下での作業計画を作成しましょう。
- 暑さ指数（WBGT値）を測りましょう。
- WBGT基準値と比較して、大幅に超える場合は、作業時間を短縮しましょう。



暑さ指数計は
JIS規格（B7922）
適合品を！

※WBGT基準値については、
「WBGT値を把握して熱中症を
予防しましょう！」（リーフレット）



※動画教材
（厚生労働省
ポータルサイト）



具体的な取組事項

- のどの渇きに関わらず、水分・塩分を摂取しましょう！
- こまめに休憩をとりましょう！
- 暑さに慣れる期間を設定しましょう
（1週間程度かけて徐々に体を慣らす）！
- 異変を認めたときは医療機関に搬送しましょう！



熱中症対策については、
令和5年「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」要綱
を参照ください。



管内の熱中症発生状況

発生年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
死傷者数	3	2	3	3	4	8	2	3
内、死亡		1				1		

休業4日以上之死傷災害

災害発生事例

①死亡災害

気温35℃の中、屋外で清掃作業などを行っていた被災者が倒れているところを発見された。熱への順応期間中であったが対策が行われていなかった。



対策

- 巡視時に、**体調・水分塩分摂取・休憩の状況を確認**しましょう。
- 順応状況に応じた作業の休止時間等を定め、**連続作業時間を短縮**しましょう。
- 異常時は、速やかに全身に水をかけ、扇風機等で体を冷却**してください。

②休業災害

気温35℃の中、トラックへの荷物の積み込み作業中、発汗、吐き気、めまいを感じたが、作業を続け、退勤後に病院で熱中症と診断された。（休業1月）



対策

- 熱中症の症状、熱中症の予防方法等について**労働衛生教育**を行いましょう。
- 体調が悪くなった場合は、速やかに責任者に申し出ましょう。
(我慢をしない、させない。)

厚生労働省の熱中症ポータルサイトの紹介について

『学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！職場における熱中症予防情報』

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

熱中症対策事例の紹介や、eラーニング動画等が掲載されています。
あらゆる機会にご活用ください。

